



たかのす便り

【第14号】

国土交通省
羽越河川国道事務所

清秋の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
きれいに刈り取られた水田の朝日夕日に、秋の深まりを感じるようになりました。
今回は9月と10月に行われた、3つの現場見学会をご紹介します。

「関川村民見学会」 今年も進捗を見て頂きました

10月13日、関川村民と役場職員を対象とした見学会を開催し、橋や補強土壁、地すべり対策や軟弱地盤対策、ボックスカルバートの現場などを見学して頂きました。

当日は爽やかな晴天に恵まれ、区長や村民の方、平田村長をはじめとする役場職員を含め、約30人が参加されました。特に今年は、新潟山形南部連絡道路「関川ー小国間」早期実現推進関川村協力会の皆様が、たくさん参加して下さいました。

この見学会は今回で3年目になりますが、今後も定期的に事業進捗を見て頂くと共に事業への理解や関心を深めて頂き、地域の皆様と共に鷹ノ巣道路事業を進めていきたいと思っております。



補強土壁（テールアルメ）



ボックスカルバートの現場



120 t 吊のクローラクレーン



平田村長のご挨拶

【新潟山形南部連絡道路「関川ー小国間」早期実現推進関川村協力会】

新潟山形南部連絡道路「関川ー小国間」の建設工事の促進を図ることを目的として、今年の7月6日に設立されました。現在の会員数は29名で、今後、小国道路の早期事業化や鷹ノ巣道路の建設促進が図られるよう活動が行われます。

関川村総合振興審議会が、初の鷹ノ巣道路視察

9月10日、関川村総合振興審議会の委員約20名が村内施設研修会で大内淵の現場を視察されました。審議会で鷹ノ巣道路を視察されるのは今年が初めてになります。

鷹ノ巣道路事業の説明をさせて頂いた後、橋や補強土壁などをつぶさに視察され、工事の進捗を確認されました。「現場に来て間近に見ることでわかることが多い」と感想を述べられるなど、構造物のスケールの大きさも実感して頂きました。



間近から見る補強土壁と橋の下部



鷹ノ巣温泉と吊り橋を望む現場



【関川村総合振興審議会】

地方自治法第138条の規定に基づき設置され、行政の意思決定等の補助的機関としての役割があります。設置目的は「村民の意見を幅広く取り入れ、村民参加の行政を進めるため」と「行政と村民間の情報伝達、情報収集」で、委員は村民から選ばれた40名です。

若きエンジニア 新発田南高校3年生が「体験型見学会」

秋晴れの10月26日、建設業界の担い手として期待される県立新発田南高等学校土木工学科3年生41人が、現場を体験することで建設業への理解を深めて貰う「体験型見学会」を行いました。昨年に引き続き3年目の開催となりました。

ボックスカルバートの鉄筋検査実習、ドローンを使用した測量、油圧ショベルやクレーンの試乗、鉄筋結束作業を技術者から指導を受けながら体験しました。

このような実習や体験は初めてとのことで、熱心にメモを取ったり、バックホウ操作なども終始楽しそうで、現場体験を通じ建設業の魅力を十分に体感して頂けたと思います。



建設業界の担い手を期待



鉄筋間隔や直径を設計図と照合



大型クレーンの操作席試乗



ドローンでの測量を学ぶ

発行およびお問い合わせ先



国土交通省 北陸地方整備局
羽越河川国道事務所

〒959-3196 新潟県村上市藤沢27-1

電話：0254-62-3211(代表)

担当：伊藤（鷹ノ巣道路整備推進プロジェクトチームリーダー）

URL⇒<http://www.hrr.mlit.go.jp/uetsu/>



モバイル

